

水素燃料エコバス発車室蘭で走行試験始まる

2009年10月21日

asahi.com

MY TOWN
北海道



実証走行試験が始まった水素燃料バス。屋根に水素タンクを搭載している＝室蘭市

水素を燃料にした「エコ」バスの実証走行試験が20日、室蘭市内で始まった。室蘭工業大と東京都市大(旧武蔵工業大)、室蘭市が連携した実験で、市が公用車として借り上げて走行性能を検証する。

エコバスはディーゼルエンジンバスを改造した19人乗り。東京都市大が開発した水素燃料エンジンを使い、水素を燃やして動力にするため、二酸化炭素は発生しない。屋根に水素タンクを6基(1基74リットル)積み、満タンで約200キロ走行できる。

2月に国内で初めて公道走行許可を得て、東京と横浜を結ぶシャトルバスとして約9千キロを走行してい

る。

同大は室蘭工大と連携協定を結んでおり、坂道が多く、本州より気温が低い室蘭市を試験地に選んだ。11月16日まで市が視察や市民の夜景見学会などに利用して800キロを走行し、燃費や低気温の中でのデータを集める。水素は室蘭工大が用意した移動式水素ステーションで補給する。

市は市民らにも知ってもらおうと、29日に市内の2小学校で出前教室、31日と11月1日に市内の商業施設や市青少年科学館で展示試乗会を開く計画だ。

東京都市大の渡辺健・国際産官学連携室長は「室蘭での試験後、冷温施設を使った寒冷地試験も実施し、実用化を図りたい」と話している。

無断転載禁止 ・ 著作権は朝日新聞社に帰属します
転載承認済み

東京都市大学グループ
学校法人 **五島育英会**